

ニュージーランド・パーマストンノースの素晴らしい自然



マッセイ大学は、4万人を超える学生が在籍するニュージーランド最大の大学である。世界120カ国を超える国・地域から、5000人を超える留学生が在籍しており、文化や生活スタイルの違い

も多々見られる大学だ。また、マッセイ大学には様々な学部があり、その中でも世界的に有名な学部が獣医学部である。NZだけではなくアメリカ・カナダなど、5カ国の免許を取ることができる。

マッセイ大学の学内には、郵便局、病院、銀行、コンビニ的なものなど、生活に必要な施設がそろっている。



マッセイ大学キャンパス内

そのほかにも、結婚式場やラジオ局等、大学内にある建物としては珍しい施設もあった。マッセイ大学のラジオ局は約20年前から放送を開始しており、地元では人気の地域放送となっている。

パーマストンノースの境界線

道路に「ここから先がパーマストン・ノース」ということを伝える大きな目印がある。周りには植物がたくさんあり、夜にはライトアップされる。パーマストン・ノースに来る人々を歓迎してくれているようで素晴らしかった。



スクエア周辺

街の中には芸術的な置物がいくつもあり、スクエア(広場)には高さ1mほどのチェスの駒があった。側には綺麗な池もあった。

NZの食文化について

NZでは朝食にシリアルを食べる家庭が多い。シリアルの人気は朝食の席に限らず、シリアルバーへと形を変えてモーニングティーの時間にも食べられている。私たちが現地で食べたシリアルバーでおすすめなのは、クランベリーの入ったシリアルバーだ。